

令和 6 年 5 月 1 日

令和 5 年度 事業報告書

学校法人 織田学園

1. 法人の概要

(1) 教育理念

社会に必要とされる人材を育てる学園、
そして学生が明るく楽しく学ぶ学園を目指します

(2) 生活理念

「低賞感微」(低姿勢、賞賛、感謝、微笑)

(3) 学園の主な沿革

昭和 22 年 5 月	「文化洋裁教室」を設立
昭和 24 年 11 月	各種学校として、東京都認可校となる
昭和 32 年	「織田文化服装学院」と校名変更
昭和 34 年	きもの学院設立
昭和 40 年 10 月	学校法人織田学園認可
昭和 43 年 4 月	「織田調理師専門学校」設立認可、厚生大臣の指定校となる
昭和 44 年	「織田きもの着付教室」開講
昭和 51 年 4 月	「おだ学園幼稚園」を設立開園 寄付行為を変更、準学校法人から学校法人に変更
	9 月学校教育法の一部改正により、「織田文化服装学院」を「織田服飾デザイン専門学校」に、「織田きもの学院」を「織田きもの専門学校」と改称し、それぞれが専門学校に昇格 織田調理師専門学校も新制専門学校として許可
昭和 55 年 4 月	ファッションビジネス科新設
昭和 55 年 11 月	織田服飾デザイン専門学校、織田きもの専門学校および織田調理師専門学校の無料職業紹介所開設許可(労働大臣許可)
昭和 56 年 4 月	「織田栄養専門学校」設立許可、厚生大臣の指定校となる
昭和 56 年 5 月	学園創立 35 周年記念式典開催
昭和 58 年 12 月	織田服飾デザイン専門学校、フランスのエコール・ド・ラ・クチュール・パリジェンヌ服飾学校と姉妹校提携
昭和 63 年	「織田服飾デザイン専門学校」を織田デザイン専門学校に改称
平成 9 年 7 月	織田学園創立 50 周年感謝の会開催
平成 10 年 1 月	「織田製菓専門学校」設立認可

平成 10 年 2 月	「織田福祉専門学校」設立認可
平成 10 年 4 月	「織田製菓専門学校」「織田福祉専門学校」開校
平成 11 年 4 月	「織田きもの専門学校」創立 40 周年
平成 14 年 4 月	東京都認証保育所「おだっこ園」開園
平成 19 年 5 月	織田学園創立 60 周年
平成 20 年 4 月	「織田デザイン専門学校」を「織田ファッション専門学校」に改称
平成 22 年 4 月	幼稚園・保育園を多摩市落合に移転し、おだ認定こども園（幼保連携型認定こども園）を開設
平成 22 年 7 月	織田福祉専門学校を閉校
平成 29 年	織田学園創立 70 周年
令和 3 年	「おだ学園保育園」開園
令和 4 年	織田栄養専門学校を閉校
令和 5 年	「織田学園中野高等専修学校」開校。

(4) 設置する学校・学科等（令和 6 年 3 月 31 日時点）

（単位：人）

学 校	学科・専攻等	収容定員	在学者数
織田ファッション専門学校	ファッションデザイン科	60	28
	ファッションテクニカル科	60	28
	ファッションデザイン専攻科	20	7
	ファッションテクニカル専攻科	20	12
	スタイリスト科	60	35
	ファッションビジネス科	60	38
	マーチャンダイジング専攻科	20	3
織田きもの専門学校	きもの科	50	33
	きもの専攻科	15	16
織田調理師専門学校	調理師科	60	23
	調理技術経営科	80	47
	調理製菓製パン科	60	38
織田製菓専門学校	コンフェクション 2 年制	80	41
	コンフェクション 1 年制	10	7
	ベーカリー&スイーツ	10	5
織田学園中野高等専修学校	調理師製菓科	240	46

おだ認定こども園	1号認定児（満3歳児から5歳児）	135	106
	2号認定児（3歳児から5歳児）	77	86
	3号認定児（0歳から2歳児）	43	44
おだ学園保育園	0歳児	6	6
	1歳児	10	10
	2歳児	11	11
	3歳児	11	10
	4歳児	11	13
	5歳児	11	9
合 計		1220	702

2. 事業の概要

当該年度の事業項目	事業の概要
織田ファッション専門学校	<p>教育面では定期的に外部から意見を聞く機会を設けることにより、具体的に改善すべき事項が見えてきている。その成果のひとつとして、時代に合わせた能力を身に付けられるようにカリキュラムを再編した。</p> <p>就職面では、企業の求人状況は回復した。キャリアセンターと担任が連携して、就職指導をより密に進めた結果、昨年度よりも就職実績が高くなった。</p> <p>学校行事はほぼ例年通り実施でき、学生の満足度に繋がったと感じている。</p> <p>学生募集の成果は前年度を上回った。今後もっと本学を知らない高校生がHPやSNSを見てくれるような広報の仕方を検討していく必要がある。</p> <p>昨年に引き続き、外部のデザインコンテストで優秀な成績を収める在校生もいた。</p>
織田きもの専門学校	<p>教育面では、きもの関連企業とのコラボレーションを実施し、実践的な教育機会を提供した。今年度もきものサローネなどに学生作品展示で参加した。</p> <p>就職面では1年次より合同の就職ガイダンスを行いながら、個々の目標や進路検討状況に応じた就職相談を常に受けている。就職状況についても昨年度より大幅に改善が見られる。</p>

	<p>学校行事はほぼ例年通り実施でき、学生の満足度に繋がったと感じている。</p> <p>学生募集の成果は芳しくなかった。その理由としては、大学進学検討者が増えたことが考えられる。</p> <p>例年に引き続き、メンタルに問題を抱えている学生に対してサポートを行い、保護者との連携を図った。</p>
織田調理師専門学校	<p>教育面では、例年通り問題なく授業および学校行事を実施することができた。今年度より、感染症蔓延前に実施していた校外実習を再開した。</p> <p>就職面では進路変更希望者を除き、概ね飲食業界に内定し就職した。業界は同じものの、業態は様々であり、学生ひとりひとりの希望に合わせ、適切なサポートを行った。</p> <p>学生募集の成果は前年度を下回った。その理由としては、業界自体の志望者が減っていることに加え、特定の他校への入学希望者が集中したことが推察される。</p> <p>今年も食品ロスの削減やエネルギーの制約など、SDGs 推進について学校全体で取り組んだ。</p>
織田製菓専門学校	<p>教育面では、例年通り問題なく授業および学校行事を実施することができた。休校もなく、退学者も 0 であったことから学生満足度の面で手応えを感じる。</p> <p>就職面では、就職率 100% を達成した。いずれの学生も業界は同じものの、業態は様々であり、学生ひとりひとりの希望に合わせ、適切なサポートを行った。学生個々の積極性の高さに加え、昨年度よりも就職への意識付けを強くできたと考える。</p> <p>学生募集の成果は前年度を大きく下回った。オープンキャンパス参加者が減り、取り込み率も横ばいであった。競合他校が広告予算をかけてきているデータもあり、分野全体として志望者が減っていることが考えられる。</p> <p>今年も、食品ロスの削減やエネルギーの制約など、SDGs 推進について学校全体で取り組んだ。</p>
織田学園中野高等専修学校	<p>開設初年であり、46 名の新入生を向かえてスタートした。</p> <p>生徒は高校教育と調理師教育を併修するが、中学教育からのスムーズな移行と無理なく学べる教育課程を目指している。在校生は 1 期生として学習や校外活動に積極的に取り組んでいた。</p> <p>教職員は開設 2 年目に向けて学校の周知を図り、次年度生募集にも取り組んだ。</p>

<p>おだ認定こども園</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が2類から5類に変更になり、以前のように保護者や地域の人との関わりを再開することができた。そのことによって、園で活動している園児の姿を見てこどもの成長を共に喜び共感することができた。</p> <p>またESD教育の一環として5歳児がダンボールコンポストのプロジェクトを行いゴミのリサイクルを体験した。地域との連携ができ多様な人との関わりから学びが多い実践となった。</p> <p>園児が減少している中だが、地域に開かれ、地域から支持される質の高い教育を提供できる園として他園との差別化を図りたい。そのためにも保育者の質の向上を目指すと共に職員が安定しやりがいを持って働ける組織としてさらなる前進を図りたい。</p>
<p>おだ学園保育園</p>	<p>教育・保育の中で、畑の作業やアートやリトミックなど外部の人たちと関わりを持ちながら地域に根ざした園運営を実施している。</p> <p>職員は乳児保育、幼児教育、保護者支援、保健衛生、食育・アレルギー等研修の機会を持ち、専門性をもった資質向上に引き続き努めていく。課題としては多国籍家族と多様化している家庭が増えていることに伴い丁寧な保育と保護者支援が持続できるよう職員体制の対応が必須となってくることにある。</p> <p>また、今後もSDGsを含め2030well-being（身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを意味する概念として「幸せ」）持続可能な社会を目指した企画の実践を盛り込んでいく。</p>

以上